

令和4年2月10日(木)

愛知県公立大学法人

担当 愛知県立大学

戦略企画・広報室 吉田

教育福祉学部 藤原

電話 0561-76-8636

Mail kouhou@puc.aichi-pu.ac.jp

シンポジウム 文化実践から市民性を考える

「人と人を繋ぐ芸術とスポーツの社会性

～文化・コミュニティ・民主主義～」を開催します！

2021年の東京五輪は、政治性を帯びたスポーツの祭典としてのオリンピックを日本人が強く意識するものとなりました。また2022年夏には、日本型芸術祭の中でも最も政治性が問われることになった「あいちトリエンナーレ」の後継となる芸術祭が開催される予定です。本シンポジウムはこういった状況の中で、**芸術やスポーツといった文化が持つ社会性によって、包摂や政治参加を含めた市民性がどのように育まれうるのか**を、人々の生活の場である**コミュニティから考えるために企画**いたしました。そこでは日独の比較を交えながら、人類が近代になって獲得した民主主義を機能させるために、文化実践に基づいた市民性がどのような役割を果たすのかを問い直す機会になることを期待しています。

本シンポジウムでは**特別講演**として**高松平蔵氏(在独ジャーナリスト)**をお招きします。ドイツ・エアランゲン市での生活を通して、まちづくり、エコライフ、社会スポーツ、日本の部活動について情報発信されています。実は、それらに横断するかたちで教育についても語っておられ、さらに写真家というアーティストとしての一面もお持ちです。近年では『**ドイツの学校にはなぜ「部活」がないのか**』(晃洋書房、2020)が話題となり、日本の学校における部活動のあり方について一考を促してきました。また、『**ドイツの地方都市はなぜ元気なのか**』(学芸出版、2008)をはじめ、**地域コミュニティでの参加型民主主義の具体的な姿を日本に伝える**著書を手がけておられます。

ぜひ、貴社にてご取材いただきますようお願い申し上げます。

【開催日時】

2022年3月21日(月・祝) 16:00～18:30

【開催方法】

Zoomによるオンライン開催

【登壇者】

- ・在独ジャーナリスト
高松平蔵(たかまつ へいぞう)氏
- ・愛知県立大学 教育福祉学部 教育発達学科
藤原智也(ふじわら ともや)准教授

【申込方法】※参加費は無料。

下記メールアドレスにお名前・ご所属をご記入の上、参加希望のご連絡をお願いします。
apu_ac.art[at]aol.com * [at]を@に置き換えてメールをお送りください。

【主催】

愛知県立大学 教育福祉学部 美術研究室



シンポジウム 文化実践から市民性を考える

人と人を繋ぐ 芸術とスポーツの社会性

～文化・コミュニティ・民主主義～



【特別講演】
高松 平藏 氏



3/21 Mon
2022.

*参加無料・Zoom開催

16:00 開会挨拶

16:10 第一部 講演

17:00 第二部 対談・質疑

18:30 閉会

登壇者

高松 平藏 (在独ジャーナリスト)

ドイツ・エアランゲン市在住。
京都の地域経済紙を経て、2002年から同市に拠点を移す。著書に『ドイツの地方都市はなぜ元気なのか』(学芸出版、2008)、『ドイツの学校にはなぜ「部活」がないのか』(見洋書房、2020) ほか。

藤原 智也 (愛知県立大学 准教授、博士)

地域に関わるアートやデザインについて、社会政策や教育実践を対象に研究をしている。著書に『アートエデュケーション思考』(学術研究出版、2016)、『美術教育学叢書1：美術教育学の現在から』(学術研究出版、2018) ほか。

2021年の東京五輪は、政治性を帯びたスポーツの祭典としてのオリンピックを日本人が強く意識するものとなりました。また2022年夏には、日本型芸術祭の中でも最も政治性が問われることになった「あいちトリエンナーレ」の後継となる芸術祭が開催される予定です。本シンポジウムはこういった状況の中で、芸術やスポーツといった文化が持つ社会性によって、包摂や政治参加を含めた市民性がどのように生まれうるのかを、人々の生活の場であるコミュニティから考えるために企画いたしました。そこでは日独の比較を交えながら、人類が近代になって獲得した民主主義を機能させるために、文化実践に基づいた市民性がどのような役割を果たすのかを問い直す機会になることを期待しています。

主催：愛知県立大学 教育福祉学部 美術研究室

お名前ご所属とあわせて、参加か問い合わせのご連絡を次のメールアドレスからお願いします。
apu_ac.art@aol.com *〆切:3月16日(水)

*本企画は科学研究費助成事業(研究代表:藤原智也、領域番号:20K14008)の助成を受けています。